



SNSCだより



2021年9月
NO.424

9月30日
新型コロナウイルス緊急事態宣言中

部員	95名	新入会
U12	32名	
U11	13名	
U10	14名	
U9	17名	
U8	11名	
U7	8名	



【自己管理・・・子どもたち自身でできることで自信を！】
 【子育て・・・手は掛け過ぎず 眼をかけて・・・】
 【明るく楽しく元気よく！・・・子は親の鏡】
 BGM



須磨ナイスOOクラブ で OOの力をつける

ハラオリンピック、おもしろかったですね。
 有持コーチは、とくに車イスラグビー、車イスバスケットなど
 ぶつかり合う競技のすさまじい迫力に目が点になりました。
 生活をしていると、障がいがあるうとなかろうと
 不自由に思うことはたくさんあります。

「できない」「できるわけがない」ではなく「やってみよう」
 この心が大切だと考えます。

お笑い芸人が「やればできる！」コーチはあの言葉が大きいです。
 スポーツの秋。みんなのまわりにはたくさんさんのスポーツがあります。
 この前、U8は、ラグビーと野球をしました。

小さなボール、だえん形のボール。

サッカーボールとはちがうボールを使うことで、どんな力がつくでしょうか？
 「ラグビーや野球ができてサッカーは、うまくならないよ」と
 2年生が言っていました。

「ほんまにそうかな？まずは楽しんでやってごらん」やりだすと、
 おもしろいのです。そして・・・

保護者の方へ

小学校年代の子どもたちの神経系は、
 人生の中で一番発達がすすむ時期です。
 この時期に効果的なトレーニングは、色々な動きや判断を
 とりいれることが、大切です。

中学校、高校、社会人に進む子どもたちが、
 スポーツと楽しくつきあっていけるよう支えていきたいです。

オリンピックが終わり、日本のスポーツにおける環境が
 多様なニーズにこたえることができるかどうか問われたと感じています。
 国籍、様々な障がい（見てわかる障がいから、見た目では分かりにくい障がい）、
 様々な苦しみ辛さなど、大人自身がコミュニケーションを
 とりながら、須磨ナイスも成長していきたいと思えます。

☆「かかえこまずに、困りごとをたすけて！」と言えるような環境を。

監督 有持 哲治

